

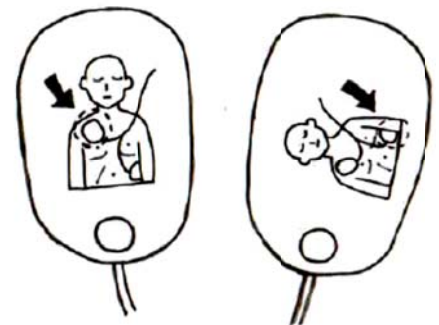
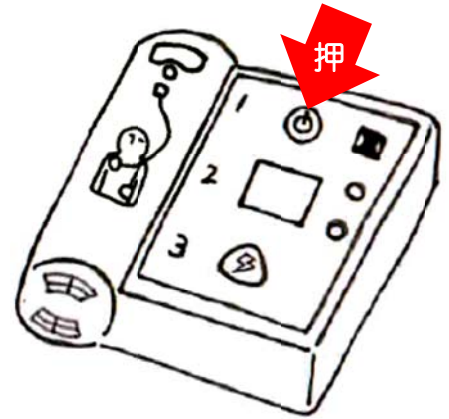
電源を入れる

7 AEDの使用

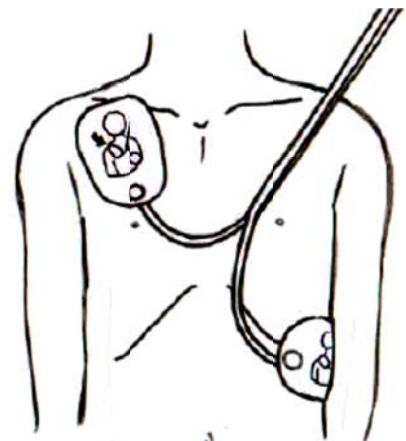
- 心肺蘇生法を行っている際にAEDが届いたらすぐにAEDを使う準備を始めます。
- AEDを使う準備をしながらも心肺蘇生をできるだけ続けてください。

AEDの準備と装着

- ①AEDを傷病者の近くに置く。
 - ②AEDの電源を入れる。
 - ・ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。
 - ・電源を入れたら、それ以降は音声メッセージと点滅するランプの指示に従い操作します。
 - ③電極パッドを貼る。
 - ・傷病者の衣服を取り除き、胸をはだけさせます。
 - ・電極パッドの袋を開封し、電極パッドをシールからはがし、粘着面を傷病者の胸部と脇腹部の肌にしっかりと貼り付けます。
- ※小児用パッドが備わっている場合は未就学児に対して使ってください。小学生以上には成人用パッドを使用してください。



電極パッド



電極パッドを貼り付ける位置

AEDの機種	傷病者の区分	小学生以上	未就学児
電極パッドで使い分ける機種(※)		成人用電極パッド	小児用電極パッド
電極モードを切り替える機種		成人用モード	小児用モード

※AED本体に小児用の電極パッドが入っていない場合には、入っている電極パッドを使用する。

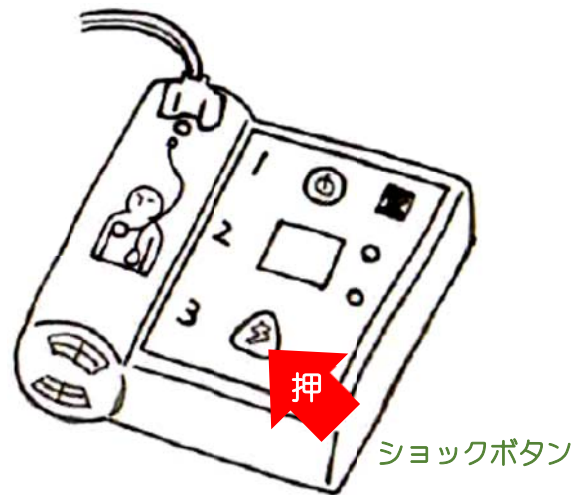
心電図の解析

- 電極パッドを貼ると“体に触れないで下さい”などと音声メッセージが流れ、自動的に心電図の解析が始まります。このとき、「みなさん、離れて!!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認します。
- AEDは、電気ショックを行う必要があると解析した場合には“ショックが必要です”，必要が無いと解析した場合には“ショックは不要です”などの音声メッセージを流します。
- “ショックは不要です”といった音声メッセージの場合は、直ちに胸骨圧迫を再開します。



電気ショック

- AEDが、電気ショックが必要と判断した場合は、「ショックが必要です」といった音声メッセージとともに自動的にエネルギーの充電を始めます。充電には数秒かかります。
- 充電が完了すると、「ショックボタンを押して下さい」といった音声メッセージとともに、ショックボタンが点灯して、充電完了の連続音が出ます。
- AEDの操作者は、「ショックを行います。みなさん離れて!!」と注意を促し、誰も傷病者に触れていないことを確認して、ショックボタンを押します。



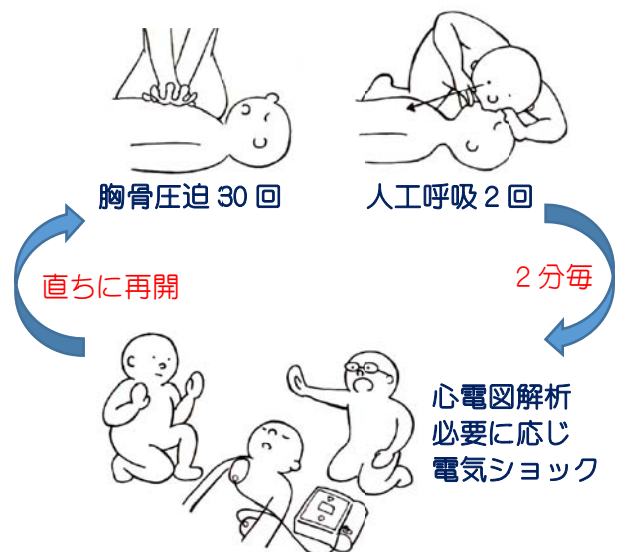
心肺蘇生の再開

- 電気ショックを行ったら、ただちに胸骨圧迫を再開します。
- ※AEDを使用する場合でも、AEDによる心電図の解析や電気ショックなど、やむを得ない場合を除いて、胸骨圧迫の時間をできるだけ短くすることが大切です。



8 AEDの使用と心肺蘇生の継続

- 心肺蘇生を再開して2分ほど経ったら、再びAEDが自動的に心電図の解析を行います。音声メッセージに従って傷病者から手を離し、周りの人も傷病者から離れます。
- 以後は、心肺蘇生とAEDの使用の手順を、約2分間おきに救急隊員と交代するまで繰り返します。



☆心肺蘇生を中止するときは

①救急隊に引き継いだとき

救急隊が到着したら、傷病者の倒れていた状況、実施した応急手当、AEDによる電気ショックの回数などをできるだけ詳しく伝えます。

②傷病者が目を開けたり、あるいは「普段どおりの呼吸」が出現したとき

心肺蘇生をいったん中止し、慎重に傷病者を観察しながら救急隊を待ちます。この場合でも、AEDの電極パッドははがさず、電源も入れたままにしておきます。

